

長沼地区住民説明会

長野市 （復興対策室・河川課・道路課・公園緑地課）

長野県 長野建設事務所

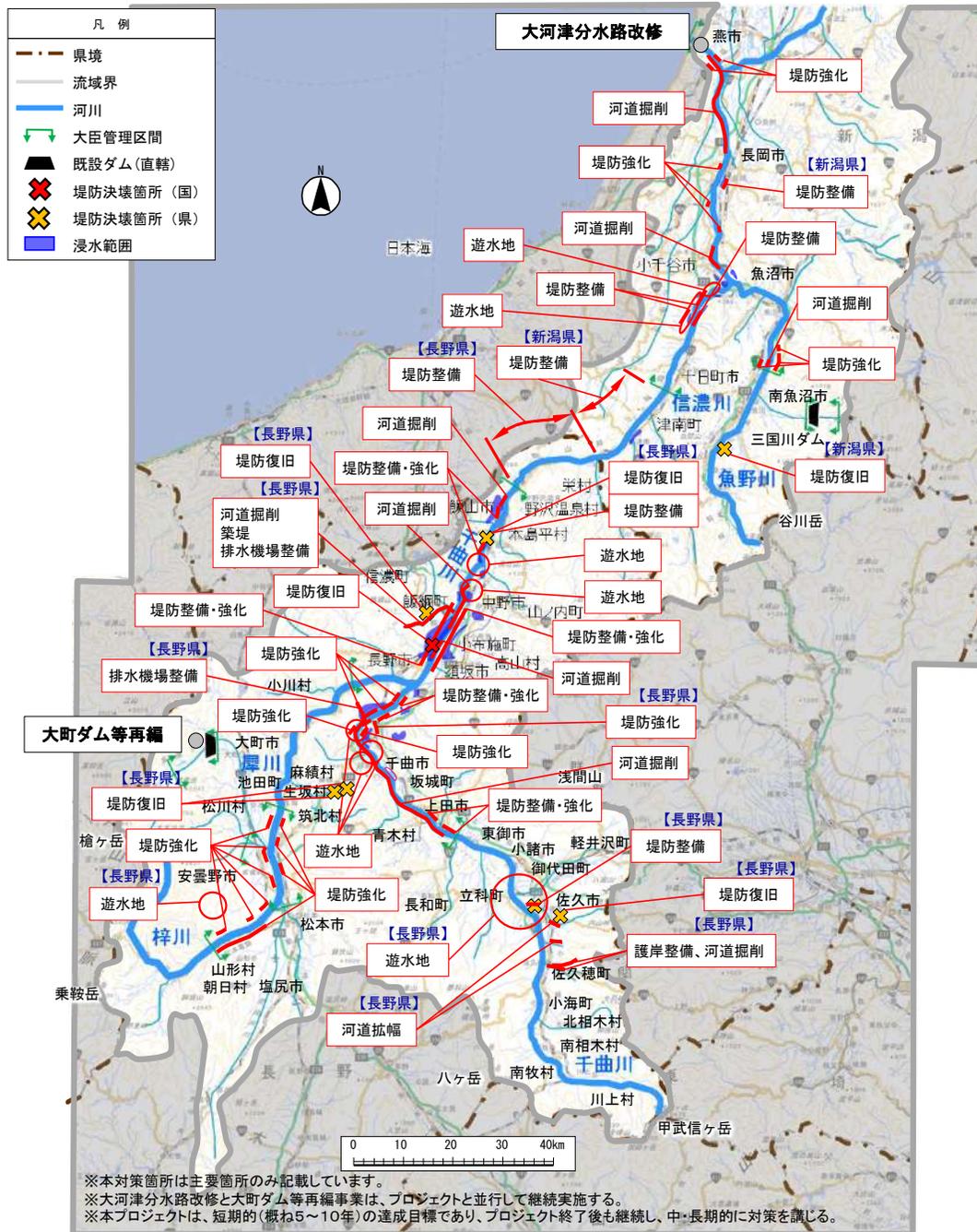
国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

目次

<u>1. 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて</u>	3
<u>2. 長沼地区河川防災ステーションの整備等について</u>	14
<u>3. 覆土変状対応について</u>	20
<u>4. 県道供用について</u>	25

1. 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトについて

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進



※本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。
※大河津分水路改修と大町ダム等再編事業は、プロジェクトと並行して継続実施する。
※本プロジェクトは、短期的（概ね5～10年）の達成目標であり、プロジェクト終了後も継続し、中・長期的に対策を講じる。

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指します。
 - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
 - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
 - ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】
- 令和7年度は、引き続き上下流バランスを踏まえた、全川での河道掘削等の改良復旧、ため池・田んぼダム等既存施設の有効利用（流域対策）、マイタイムラインの普及（ソフト施策）を実施

■河川における対策

全体事業費	約 2,865 億円【国：約 2,226 億円、県：約 639 億円】
災害復旧	約 586 億円【国：約 214 億円、県：約 372 億円】
改良復旧	約 2,279 億円【国：約 2,012 億円、県：約 267 億円】

事業期間 令和元年度～令和13年度
目標 【令和9年度まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水被害軽減
・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止
【令和13年度出水期前まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。
※事業費と事業期間については、今後の改良復旧工事の進捗に伴う現場条件の変更等により検討・見直しが生じる可能性があります

■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況



新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化(粘り強い河川堤防構造)
- 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削(大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削)
- 上流で洪水を貯留するダム(大町ダム等再編)や遊水地の整備

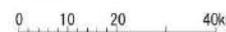
といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じます。



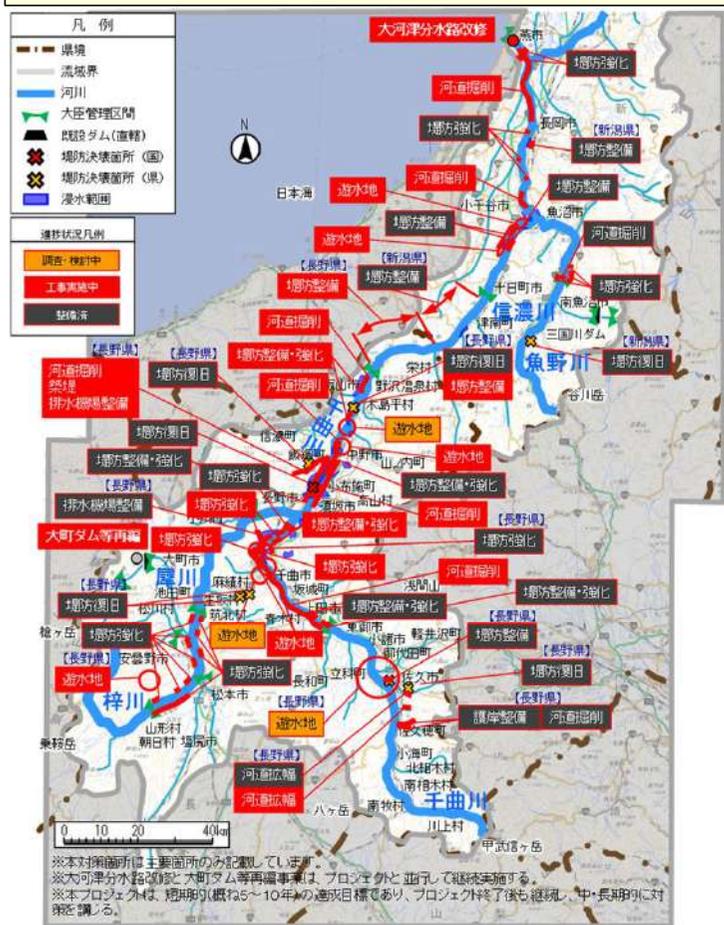
凡例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要な地点
	想定氾濫区域

黒沢川遊水地

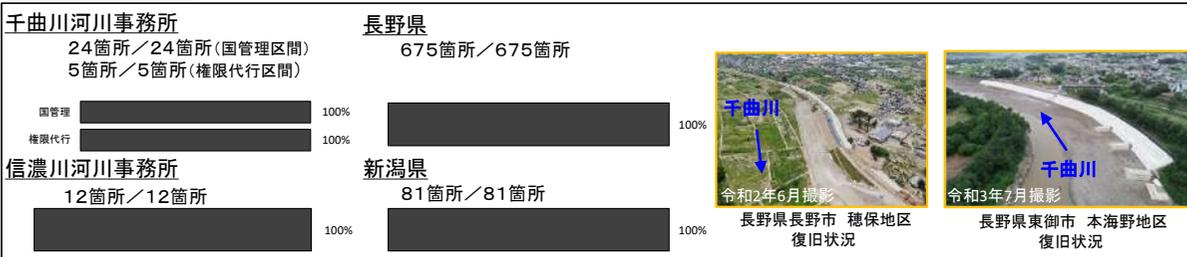
千曲川上流遊水地



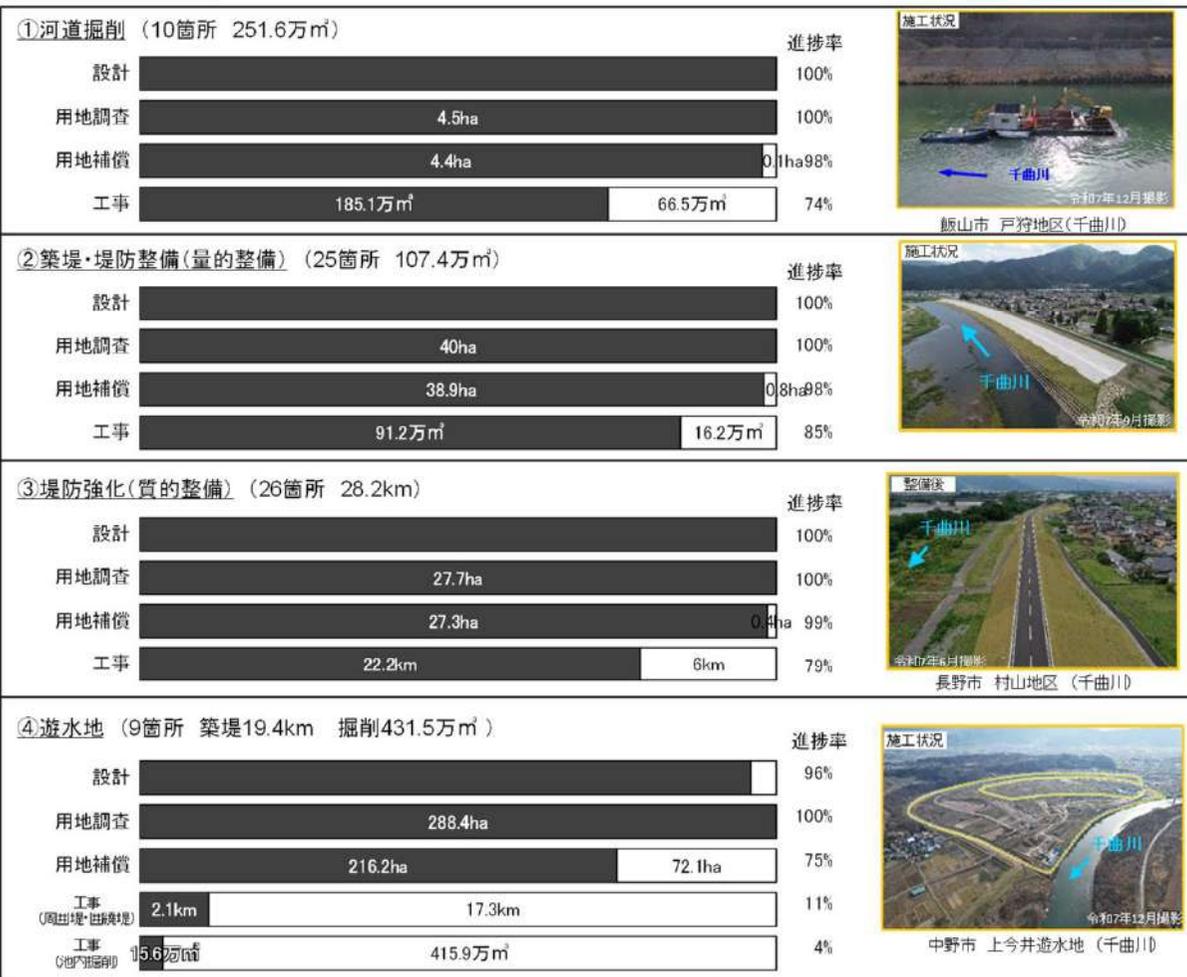
- ◇原型復旧は、全797箇所のうち、797箇所完成（進捗率：100%）。
- ◇改良復旧は、河道掘削及び堤防整備・強化を推進中。なお、堤防強化のうち、立ヶ花狭窄部影響区間における粘り強い河川堤防は、令和7年度出水期までに完了。
- ◇遊水地は関係者（地元）説明会を開催し、丁寧な説明を行いつつ、調整が図られた箇所から整備を推進中



原型復旧の進捗

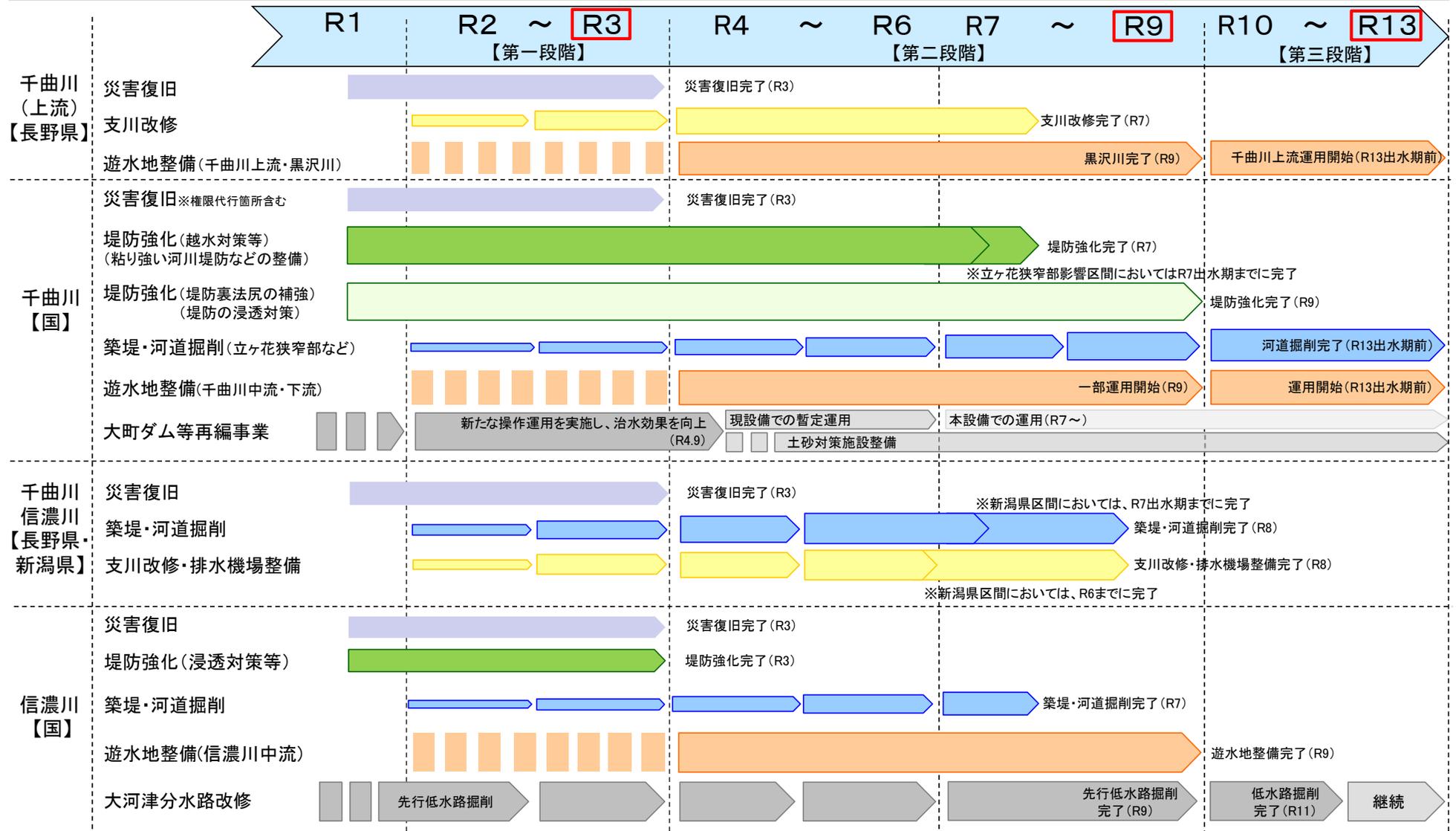


改良復旧等の進捗



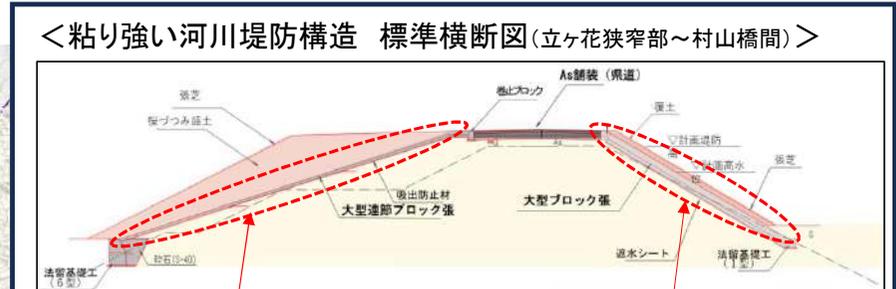
※令和7年12月末時点における、必要数量に対する数量・進捗率

- 【第一段階】 令和元年東日本台風による災害復旧について令和3年度までに完了
- 【第二段階】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
 並びに一部遊水地の運用を開始することで、一定の効果を発現
- 【第三段階】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和13年度までに完了
 なお、緊急治水対策プロジェクトで目標とする効果は令和13年出水期前までに発現



<粘り強い河川堤防> ※立ヶ花狭窄部～村山橋間について整備完了

「粘り強い河川堤防」とは・・・越水しても決壊しない河川堤防ではなく、越水した場合であっても、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を期待するもの



＜立ヶ花狭窄部の河道掘削＞ ※段階的な河道掘削を実施中、現在ステップ3まで完了



<大町ダム等再編事業(既設ダムの有効活用)> ※令和7年度より3ダム連携運用開始

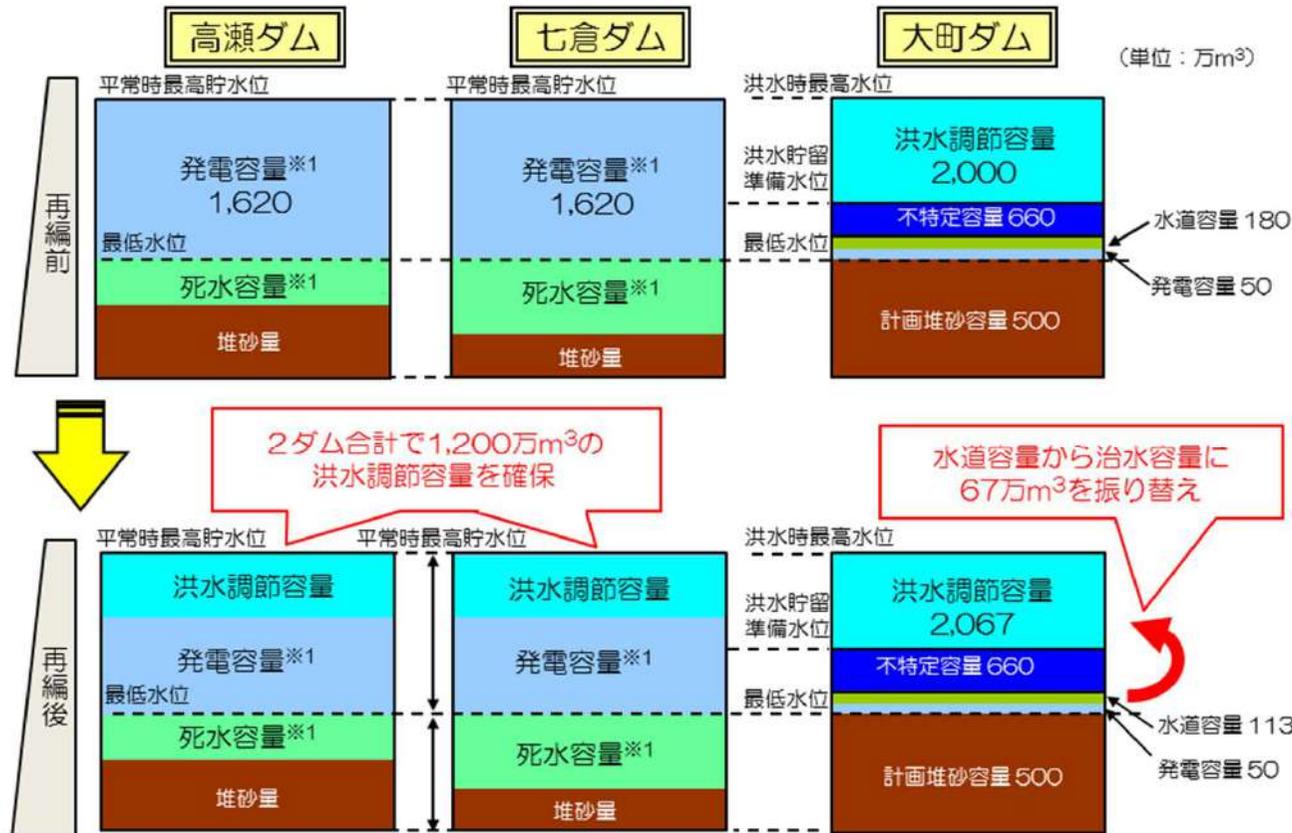


○高瀬ダム、七倉ダムの発電容量のうち1,200万 m^3 、大町ダムの水道容量のうち67万 m^3 を洪水調節容量に振り替え、新たに1,267万 m^3 の洪水調節容量を確保します。これにより3ダム合わせ3,267万 m^3 (25mプール約54,500杯分)の洪水調節容量が確保されます。

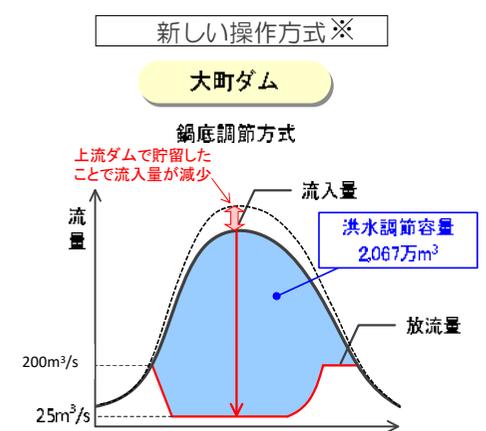
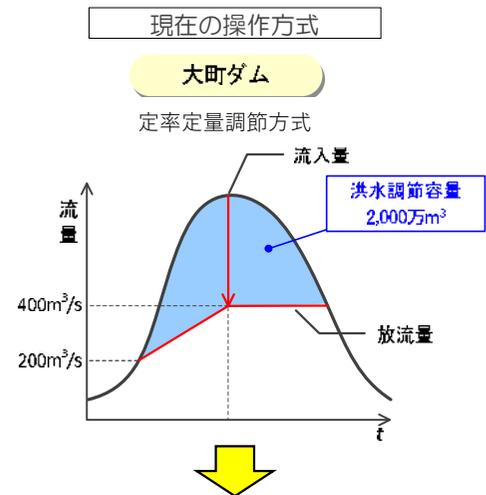
○これらの洪水調節容量を用いて、高瀬川をはじめとする大町ダム下流の河川に対し、3ダム連携により最も効果的となる洪水調節方式を検討した結果、現在の大町ダムの操作方式(定率定量調節方式)を鍋底調節方式(バケットカット)へと変更することとします。

注) 高瀬ダム、七倉ダム、大町ダムにおける洪水吐施設の改良等はありません。

大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



※1: 将来の堆砂を許容 ※2: 図の堆砂量は再編直後のイメージ



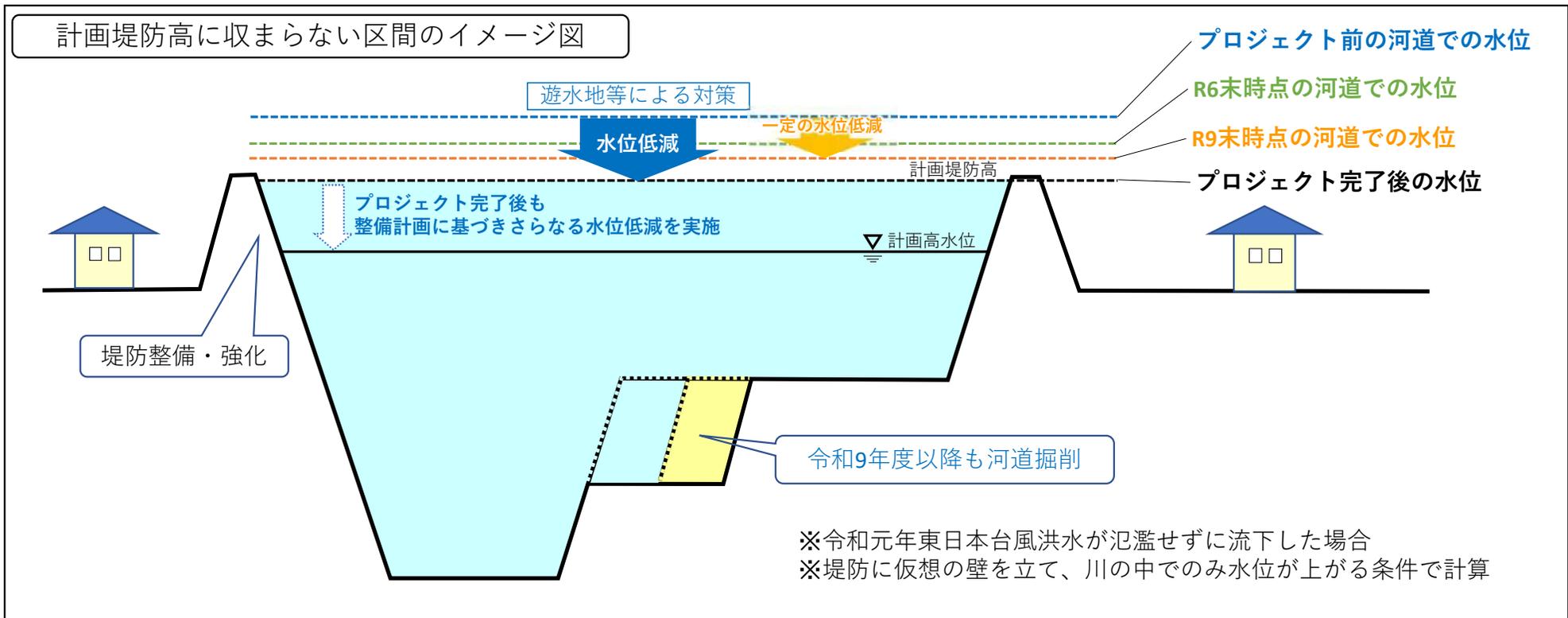
※今後の詳細検討で変わる可能性があります。

遊水地計画地位置図

- 令和元年東日本台風による洪水を踏まえた信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにおいて、千曲川の国土交通大臣管理区間では5箇所の遊水地の整備を行います。
- 令和8年2月時点で上今井、埴生、塩崎遊水地の工事を実施中です。また、蓮、平和橋の両遊水地については、令和8年度より工事に着手予定です。



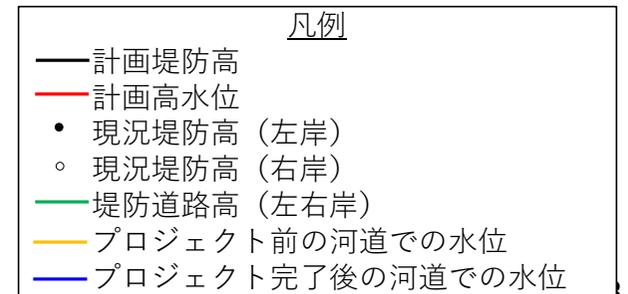
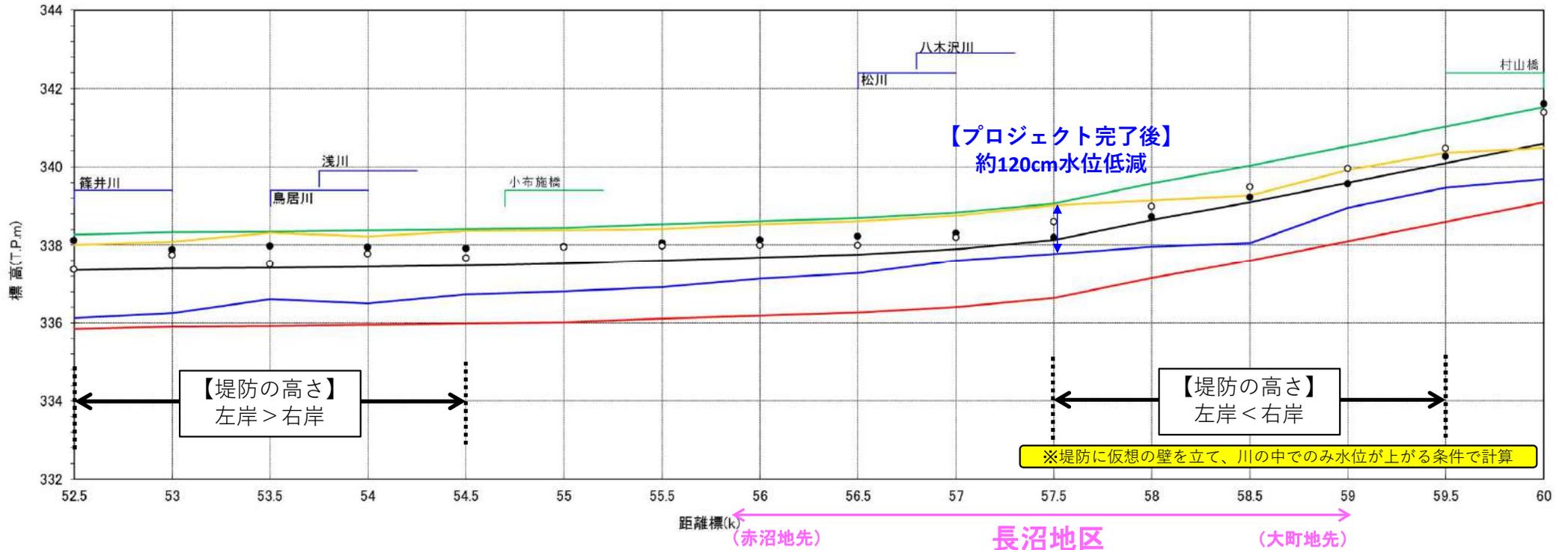
- これまで「粘り強い河川堤防」などの堤防強化、堤防の整備、立ヶ花狭窄部の段階的掘削、大町ダム等再編事業の運用開始など、治水対策は着実に進めており、一定の水位低減効果が発現可能となっている。
- 令和9年度以降、遊水地の一部運用が開始が出来るよう整備を進め、洪水量を低減させることとしているが、一部の区間において未だ計画堤防高以下に収まらないと試算している。
- さらに、河道掘削や遊水地整備等の実施により、プロジェクト完了時には、令和元年東日本台風が再び来た場合、越水させずに流下させることができるよう事業を進めていく。
- なお、プロジェクト完了後も「信濃川水系河川整備計画(令和4年12月変更)」に基づき、さらなる水位低減のため、河道掘削等を実施。また、流域からの流出抑制等の流域治水の取組とさらなる洪水調節施設についての調査・検討が必要。



○令和2年度からの各年の河道掘削により、段階的に水位の低下を図る。

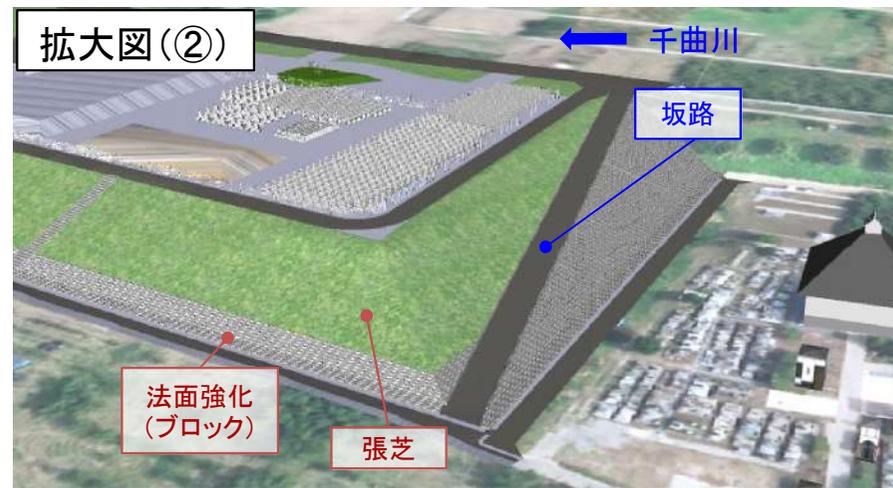
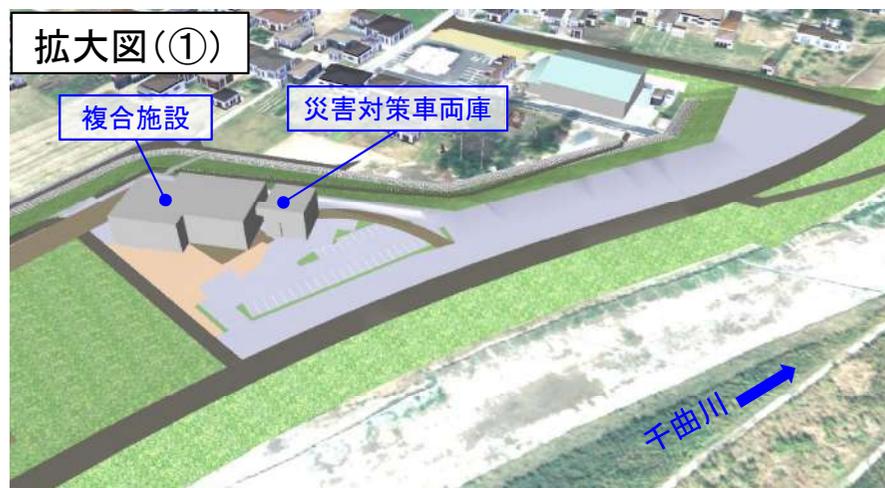
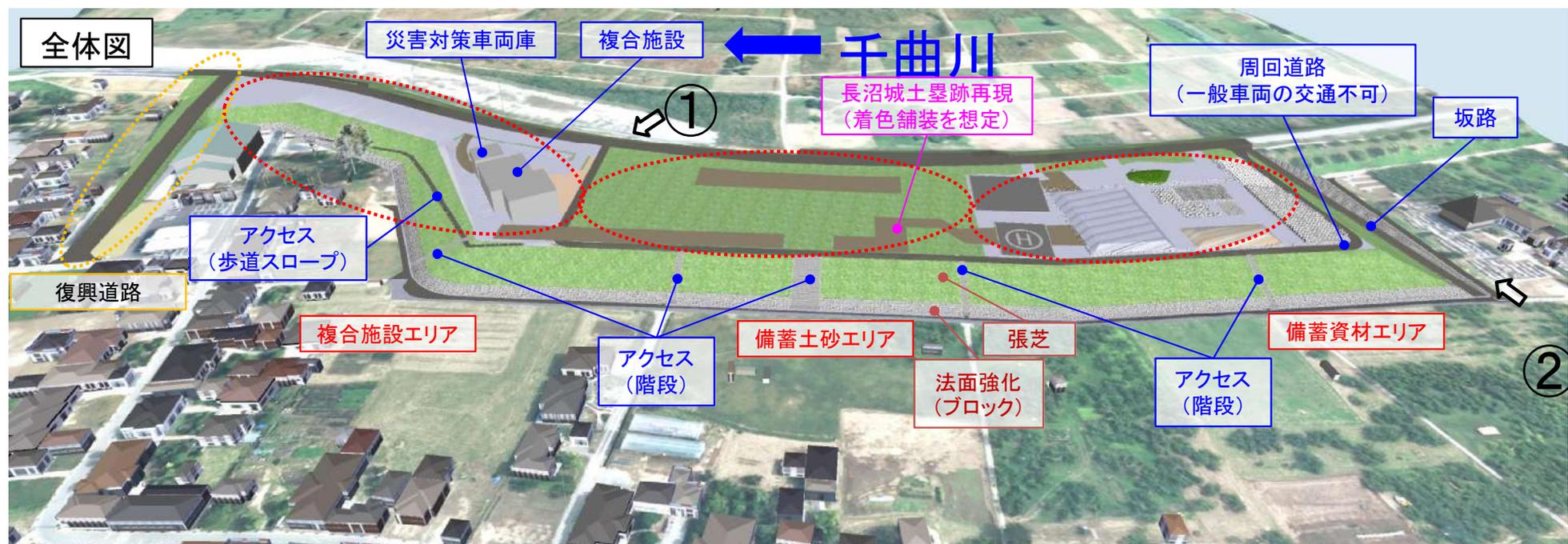
○河道掘削・遊水地の整備と合わせて、立ヶ花狭窄部上流の水位を計画堤防高以下に収め、千曲川本川からの越水を防止する。

令和元年度東日本台風規模の洪水が
氾濫せずに流下した場合の水位



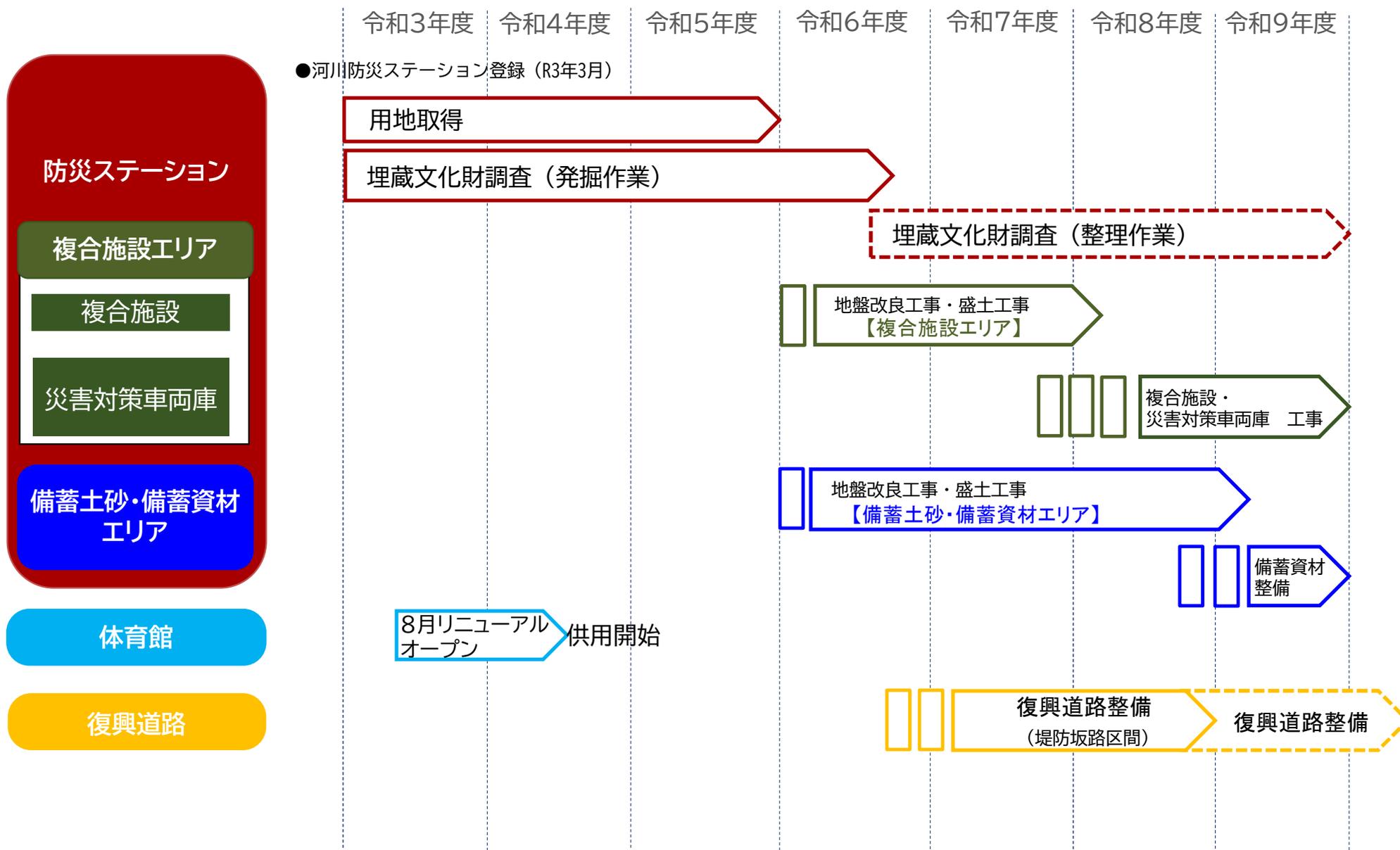
2. 長沼地区河川防災ステーションの整備等について

■これまでのご意見を踏まえた全体イメージパース図を国・長野市と連携し、作成。



長沼地区河川防災ステーションエリアのスケジュール

国・長野市



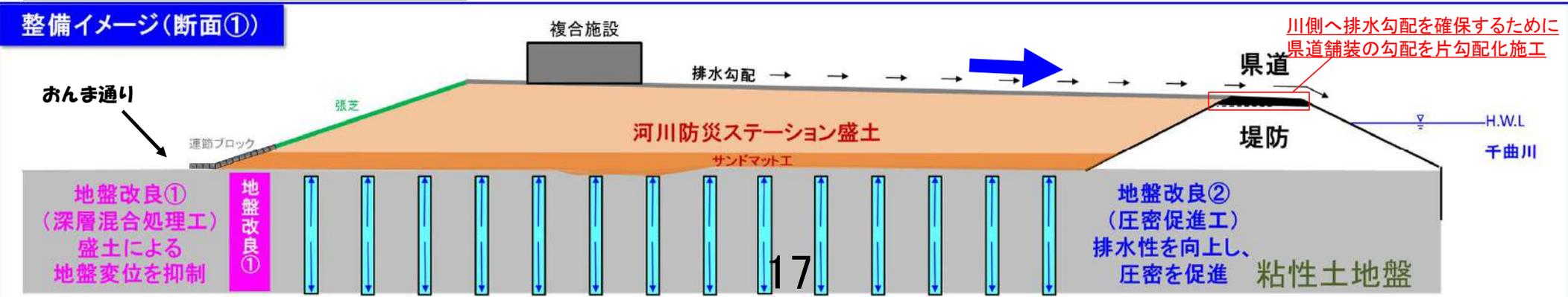
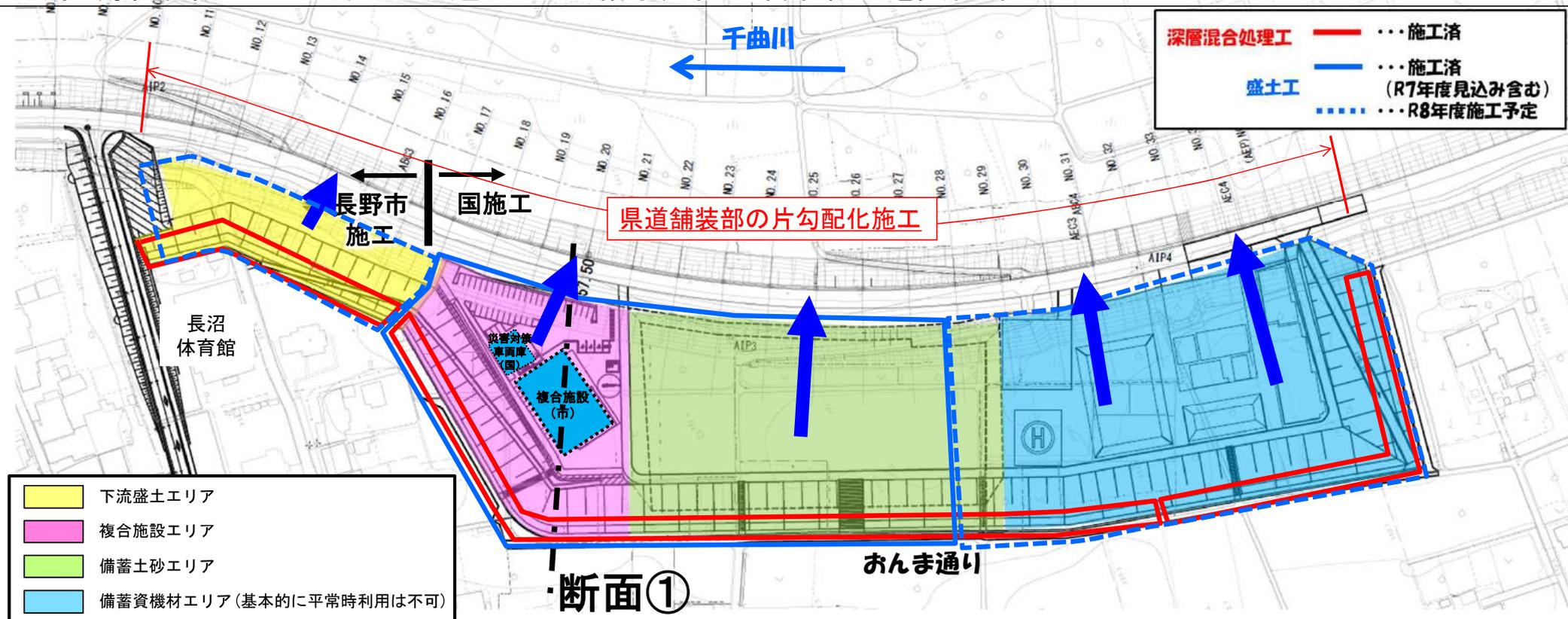
※スケジュールについては、現地整備状況等により変更を伴う。

長沼地区河川防災ステーションの整備状況について

【R8年2月末時点】

国・長野市

- (国・市) 防災ステーション及び復興道路(堤防坂路区間)の深層混合処理工を実施済。
- (国) 地盤改良工(圧密促進工)を備蓄資材エリアで実施予定(R8年3月末に完了予定)。
- (国・市) 複合施設エリア・復興道路のサーチャージ盛土完了。その他のエリアの盛土工事をR8年度継続実施予定。
- (国) 防災ステーション区間の県道舗装部の片勾配化施工を実施予定(R8年出水期前完了見込)。
- (市) 貯留施設について、おんま通り内に整備予定。(R8詳細設計を実施)。



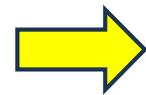
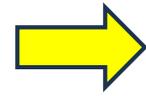


3. 覆土変状対応について

①裏のり対策：天端排水処理（天端部） 【対応状況】

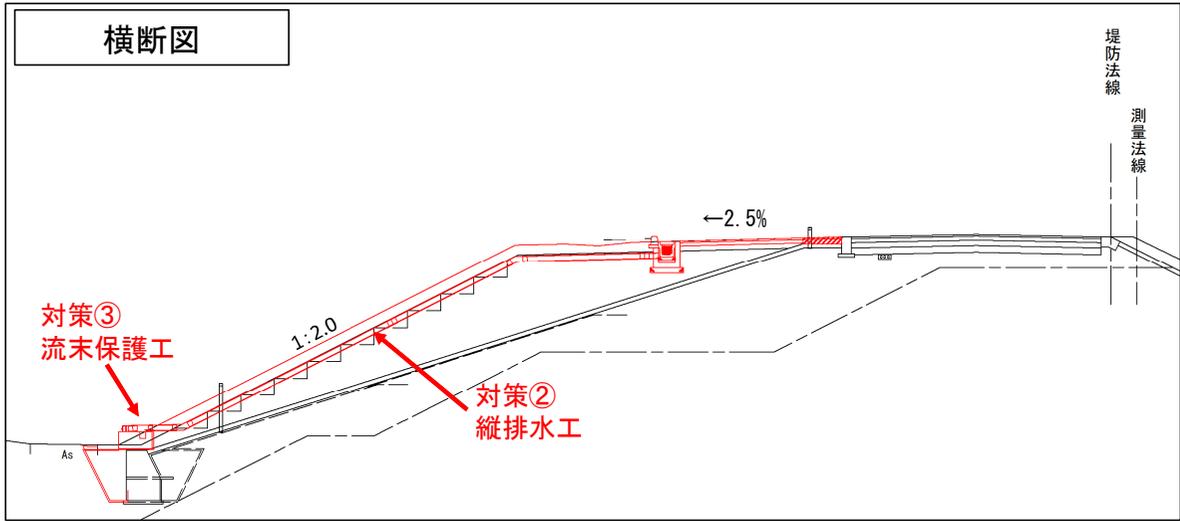
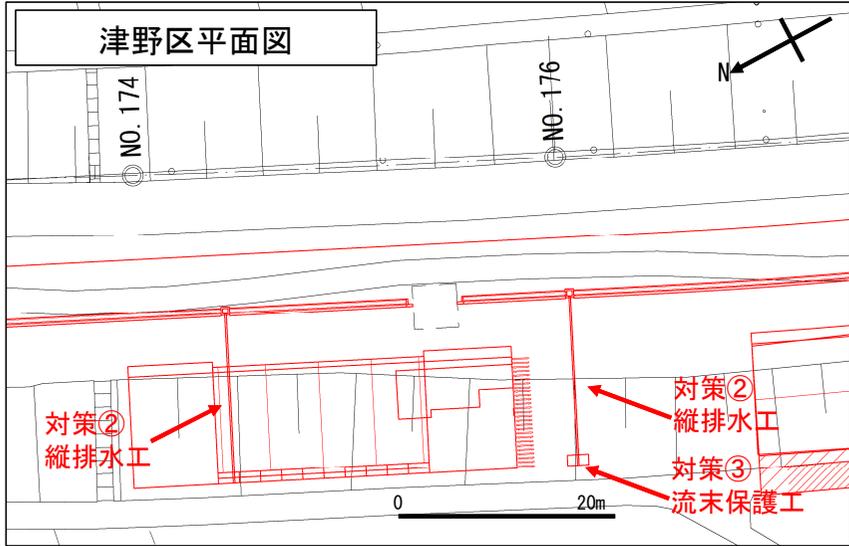
国

- ・ R6年4月（3回目）の変状を踏まえ、予防保全として桜つつみ天端部（土羽部）にブルーシート養生や縦排水管の呑口切り下げによる、天端部の雨水浸透防止対策を実施。
- ・ 第3回委員会（R6年10月）の対策基本方針を踏まえて、天端排水処理工を実施。



①裏のり対策：天端排水処理（法面部）

- 対策②縦排水工
 - ・天端の表流水を法尻に排水するため、縦排水工を施工。（φ150mmのポリエチレン管を埋設）
- 対策③流末保護工 かが工
 - ・縦排水からの雨水の流末処理・保護として、かが工を施工。



<②縦排水工（施工中）>

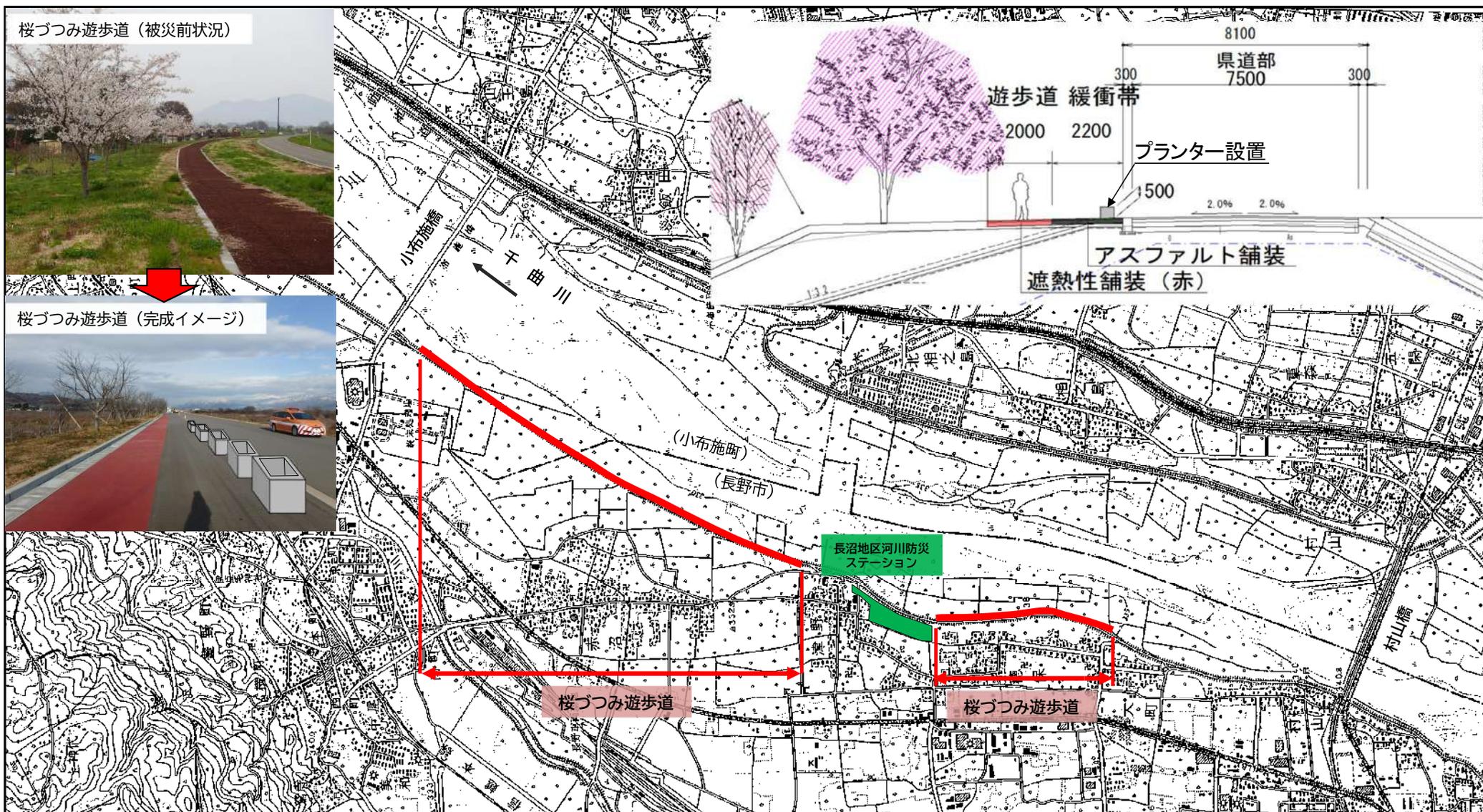


<②縦排水工（施工後）>



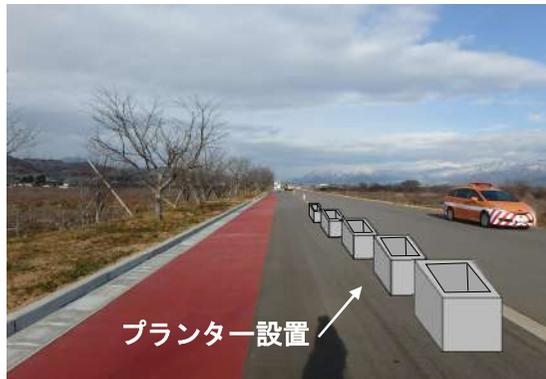
<③流末保護工 かが工>



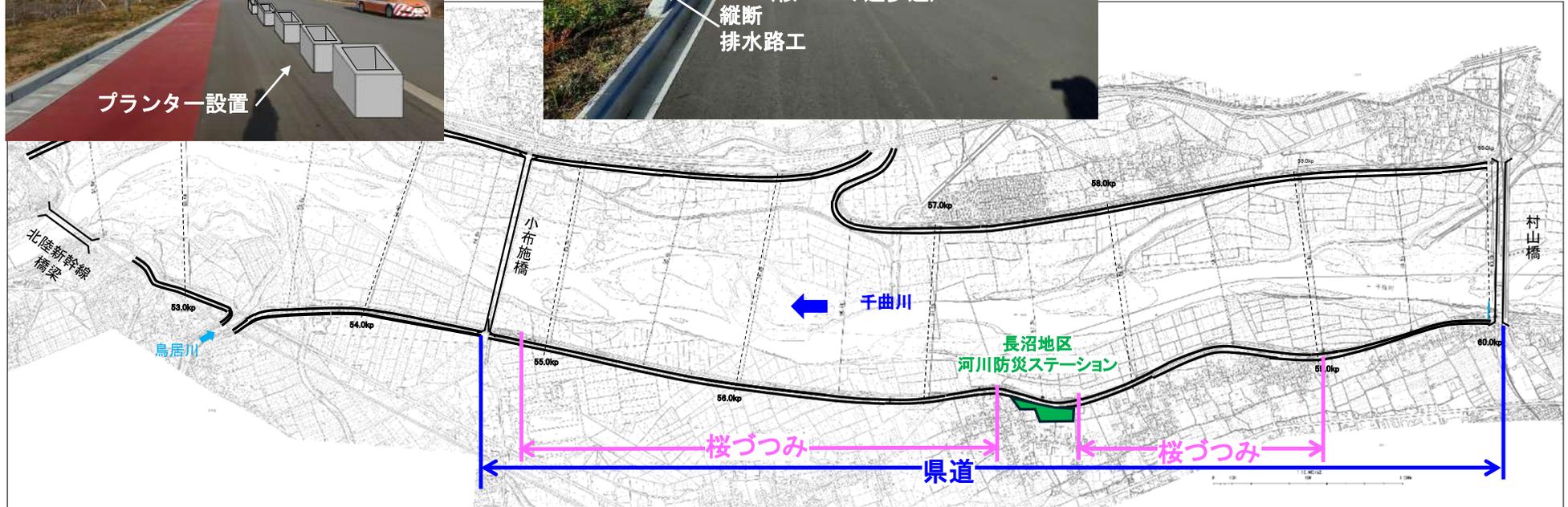


4. 県道供用について

【長野市】桜つつみ遊歩道



【国】覆土変状対策（桜つつみ）



【長野県】小布施橋 交差点改良（暫定）



【国】長沼防災ステーション（基盤整備）



【国】長沼防災ステーション（片勾配化）

